

# 学習シラバス

教科 芸術	科目 美術Ⅱ	履修学年 2	コース 人文	履修区分 選択	単位数 1
使用教科書 ・副教材等	高校生の美術2（日本文教出版）				
学習目標	美術の創造的活動を通して、美的体験を豊かにし、生涯にわたり美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、個性的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、美術文化についての理解を深める。				

## 授業計画

	学習内容	学習のねらい
一学期中間 調査まで	1 絵画 「細密デッサン」 ・対象に迫る ・表現の追求	<ul style="list-style-type: none"> <li>・描画材による調子の違いについて理解し、効果的な表現方法を工夫しながら、表現する。</li> <li>・対象を深く見つめ、造形的諸要素について理解して創造的に表現する。</li> <li>・自己の見方、感じ方を生かして表現する。</li> <li>・発想や構想を練り、表現方法を工夫しながら主体的に表現する。</li> <li>・視覚の効果について関心を持ち、その特性を生かした形体や色彩を工夫しながら計画的に制作して、表現することの楽しさを味わう。</li> </ul>
一学期期末 調査まで	2 デザイン 「イラストレーション」 ・視覚と錯覚 ・目的と条件の考察 ・配置とバランス ・色彩の調和 ・作品鑑賞	
一学期中間 調査まで	3 絵画 「心象風景」 ・アイデアスケッチ ・下塗り ・色彩の調和 ・作品鑑賞	<ul style="list-style-type: none"> <li>・これまでの学習を基に自然や社会と自己とのかかわり、自己の内面を深く見つめ、作品の発想や構想を練る。</li> <li>・表現方法を主体的に選択し、目的や意図に基づいて、計画や手順を考え、制作に見通しを持って表現する。</li> <li>・自己の体験などから創造的で主体的な表現のテーマを考える。</li> <li>・主題を効果的に表現するために、技法や効果を理解して創意工夫しながら表現する。</li> <li>・日本の伝統的な美術の様式や色彩を理解し、その良さを表現の中で工夫して取り入れる。</li> <li>・暮らしの中で生かされてきた伝統的な表現について気付く。</li> <li>・木材のもつ美しさを感じ取り、木彫の技法や材料、用具の特性を理解して創造的に表現する。</li> <li>・立体表現の特質、素材感を基に豊かな考えで作品の構想を深める。</li> </ul>
二学期期末 調査まで	4 デザイン 「文様を描く」 ・日本の伝統色と模様について ・アイデアスケッチ ・色彩計画 ・色彩のパターン化 ・作品鑑賞	
二学期期末 調査まで	5 彫刻 「木彫」 ・用と美のデザインについて ・立体の基礎・荒彫り ・表面処理・着色の技法 ・作品鑑賞	
学年末 調査まで	6 鑑賞 ・写真による表現力 ・アニメーションで伝える	<ul style="list-style-type: none"> <li>・映像メディア表現の特性を理解し、意図に応じた効果的な表現方法を知る。</li> <li>・作品鑑賞から作者の意図と表現の工夫などを感じ取り、多様な視点から味わう。</li> </ul>
評価方法	<p>【関心・意欲・態度】出席状況や授業の態度、学習プリントの記述内容等で評価する。</p> <p>【発想や構想の能力】作品、制作等の取組、学習プリントの記述、自己評価シートの記述の内容で評価する。</p> <p>【創造的な技能】作品、制作等の取組、学習プリントの記述、自己評価シートの記述の内容で評価する。</p> <p>【鑑賞の能力】鑑賞活動の取組、学習プリントの記述、自己評価シートの記述の内容で評価する。</p>	